

2022年6月30日

日本トムソン株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、日本トムソン株式会社（代表取締役 ^{みやち しげき} 宮地 茂樹）は、本商品にて証書貸付契約を締結いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「進んでいる ESG 経営」である B+ランクを取得しました。

日本トムソン株式会社は、「社会に貢献する技術開発型企业」を企業理念として掲げ、針状ころ軸受や直動案内機器などの重要機械要素部品の製造販売を通じて、お客様が抱える問題を解決していく技術開発型企业を目指しております。2021 年度を初年度とする中期経営計画 2023 では、新たに IKO グループマテリアリティを策定し、企業活動を通じた持続可能な社会の実現と持続的な成長の両立に向け、ESG の視点で重要課題を特定し、課題解決に向けた取組みを推進しています。今回の ESG 評価をきっかけに、今後、より一層のサステナブル経営の推進を図るべく、ESG への取組みを強化する姿勢を示しております。

【高く評価を受けた ESG に関する取組み】

- ✓ 環境側面（E）では、主要拠点で ISO14001 を取得し、構築されたマネジメントシステムの下で環境方針を策定・公表の上、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて高効率設備への更新や太陽光パネルの活用などの GHG 排出量削減活動を進めている点や、中心製品のひとつであるベアリングの品質基準はもちろん、エネルギー消費効率を上げ環境負荷低減につながる製品として顧客に訴求されている点。
- ✓ 社会側面（S）では、グループとして特定されたマテリアリティに関して KPI を設定した上で、労働時間の短縮や女性従業員比率の向上に向けて育児短時間勤務制度などを整備するなど、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる点や、地域コミュニティとの共生及び悪影響の低減に向けた取組みを積極的に行っている点。
- ✓ ガバナンス側面（G）では、取締役会の実効性評価についてアンケートによる評価を適切に実施している点や、コンプライアンスハンドブック及び行動憲章をもとに全従業員に対してリスクマネジメントの周知徹底を行っている点、指名・報酬諮問委員会の下で選任基準をもって取締役を選任し、且つ取締役報酬の決定に係る意思決定プロセスが手続きとともに開示さ

れているなど、透明性・客観性を担保している点。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上